

# 鹽竈十福

発行所 〒985-1810 塩竈市一森山一番一号  
 志波彦神社 社務所  
 電話 〇二二-367-1611(代)  
 FAX 〇二二-365-5530  
<http://www.shiogamajinja.jp/>



七月四日 藻刈神事

二年に及ぶ感染症への対応により、鹽竈神社例祭も縮小され、みなと祭は中止となる。



しかし、ワクチン接種が始まり元の生活への見通しがつくようになってきた。その時に何をしたいのかと問われれば、「人に会って、話がしたい」と多くが答えることだろう。盆や正月に帰省できず親族家族が集まらなかった、大勢の友人と話す機会がなかった、仕事帰りの同僚との一杯もできなかった、どれも飲食を伴う会話の時が失われたのだ。神社では祭典後の直会の時を失った。直会料理を持ち帰る、腹は満ちても心はどうか。奉仕者参列者それぞれの緊張感をもって神事に臨む。終われば神酒を戴き常へと戻る、その時の安堵や喜びを共有するのが直会、神事の「律」である。「律」を音律と考えれば、音楽でもそれが無ければ調子は狂う、直会という律を失えば神事の調子が整わないのだ。

盆や正月に集まって子や孫の成長を喜び、離れていた日々のことを語り合う。苦労を共にした同僚と仕事の達成を喜んだり失敗を慰め合ったりと、ビデオ通話やテレワークでは満たされない「生活律」があった。これが無ければ生活の調子はおかしなままだ。

鹽竈様の神輿渡御、表坂二百二段を担ぎ上げる時に湧きあがる熱気、そしてやり遂げた後に互いをたたえ喜びを共にする直会の時。直会の再開、しおがま様に集う方々との心の再会を願っている。

# 鹽竈神社例祭 七月十日

来る七月十日(土)、鹽竈神社例祭が斎行されます。

午前十一時より斎行され、祭典中に特殊神事「御出幣式」が執り行われます。

御出幣式は、別宮・左宮・右宮各御本殿内に奉安されている御神幣を権宮司以下所役三名が奉戴し楼門前まで進み、まず南面して左右



左の順に振り奉り、さらに北面して同様の所作を行います。これは国家の安泰と

国民の平和を祈るもので、かつては「御朝参神事」とも称し、筆頭禰宜家のみが相伝する秘事でした。

なお、流鏝馬神事、市内小中学生による書道展は中止となります。

# 宮城県無形民俗文化財 藻塩焼神事

七月四日・五日・六日

鹽竈神社例祭に先立ち、市内本町に鎮座する末社・御釜神社では、御祭神鹽土老翁ゆかりの特殊神事「藻塩焼神事」が斎行されます。

「藻刈神事」七月四日(日) 七ヶ浜花刈浜沖に神事船を出し、ホンダワラと呼ばれる海藻を採取する神事です。

「水替神事」七月五日(月) 松島湾金ヶ淵より満潮時の海水を汲み、古い神釜の海水を海に返して入れ替える神事です。午前十時に御釜神社において奉告祭を斎行、午後二時に出船し神事を斎行します。

「藻塩焼神事」七月六日(火) 海水を煮詰めて塩を取り出す神事です。古代の製塩作法の一端を伝える貴重な神事として、昭和五十四年に宮城県無形民俗文化財に指定されました。

神事で調製された塩は、引続き斎行される御釜神社例祭、十日の鹽竈神社例祭で御神前にお供えされます。また、御釜神社例祭参列者にお頒けいたします。



# 曲木神社例祭 八月一日

八月一日(日)、市内新浜町に鎮座する末社・曲木神社の例祭が斎行されます。

曲木神社が鎮座する籬島は、古くより名高い歌枕の名所として多くの和歌に詠まれてきました。

籬島には毎月一日の月次祭、例祭前日の前夜祭、そして例祭日のみ渡ることが出来ます。

卯花の さけるかきねは  
みらのくの 籬島の  
浪かとそ見る  
(拾遺集)



# 塩竈みなと祭 中止のお知らせ

例年七月海の日に斎行されます「みなと祭」は

新型コロナウイルスの為に昨年引続き中止となりました。七月二十二日(木)に、みなと祭中止奉告祭が斎行されます。

### 氏子崇敬会

### 春季大祭齋行

五月十六日、氏子崇敬会春季大祭が齋行されました。昨年は新型コロナウイルスの影響で中止となりましたが、今年は規模を縮小し会長以下専任理事が参列しました。

祭典後、新任の大世話人・世話人へ宮司より委嘱状が交付されました。

左記に御紹介いたします。

(敬称略)

#### 大世話人

(東部)

港町三・四 武田 武士  
元港・港町 狭間 誠

(西部)

石堂一 二瓶 大

(南部)

香津町二・一 小野 幸男

(北部)

みのが丘 玉手 宣男  
北浜四・二 後藤 勇  
楓町 高橋 守克

#### 世話人

(北部)  
みのが丘 小野 益秀

### 御田植祭齋行

五月八日、御神田において御田植祭が齋行されました。例年御田植は氏子少年団やボイスカウト、敬神婦人講師などが奉仕しますが、今年は巫女・養成所生徒の四名の奉仕となりました。



結婚  
おめでとう  
ごぞいいます

#### 三月

秋田県 北林 弘大  
秋田県 佐藤 梓

岩手県 橋本 駿  
仙台市 清水 ちえみ

栗原市 千葉 裕司  
仙台市 吉田 深雪

東京都 西野 拓  
名取市 桃井 千尋

仙台市 阿部 俊逸  
多賀城市 本地 有紀菜

#### 四月

仙台市 鈴木 智貴  
仙台市 伊藤 朋恵

東京都 清野 博文  
宮城県 阿部 沙千衣

塩竈市 大沼 正人  
仙台市 半谷 安佑理

熊本市 森井 雅  
仙台市 鈴木 千琴

#### 五月

石巻市 鈴木 浩将  
仙台市 佐々木 美苗

仙台市 外池 知晴  
仙台市 菅原 祐紀

石巻市 東梅 祐也  
白石市 齊藤 和那子

大阪府 片寄 大輝  
巨理郡 馬場 温子

仙台市 菅井 青倭  
山形県 山田 美来

#### 五月

黒川郡 相澤 和浩  
福島県 井上 菜津美

大崎市 金澤 恒汰  
大崎市 佐竹 貴和

東松島市 鈴木 康平  
岩手県 佐藤 詩織

多賀城市 小野 朋弘  
静岡県 遠藤 彩嘉

山形県 海谷 康弘  
宮城県 三浦 美咲

本吉郡 山内 貴晶  
塩竈市 千葉 真依

大崎市 上野 拓也  
加美郡 高橋 千鶴

仙台市 遠藤 龍真  
岩手県 熊田 有希子

宮城県 伊丹 章浩  
石巻市 木村 純子

北海道 才川 尚志  
大崎市 澤田 智子

加美郡 小川 明紀  
福島県 土屋 桃子

塩竈市 今野 雅之  
東京都 坂本 雪絵

塩竈市 山形 俊夫  
白石市 坂元 理絵

東松島市 後藤 純  
栗原市 佐藤 綾子

塩竈市 佐藤 龍星  
名取市 川村 弥司子

<b>国家安泰</b> <b>五穀豊穰</b> <b>家内安全</b> <b>祭事暦</b> (七月から九月まで)	毎月	朔日 祭
	一日	朔日 祭
	〃	曲木神社月次祭
	六日	御釜神社月次祭
	十日	鹽竈神社月次祭
	二十九日	志波彦神社月次祭
	七月	藻苅神事
	四日	藻苅神事
	五日	水替神事
	六日	藻塩焼神事
〃	御釜神社例祭	
七日	牛石藤鞭社例祭	
十日	鹽竈神社例祭	
八月	曲木神社例祭	
一日	曲木神社例祭	
九月	志波彦神社遷座記念祭	
二十九日	志波彦神社遷座記念祭 並に氏子崇敬会秋季大祭	
<b>安産祈願</b> <b>海上安全</b> <b>大漁満足</b>		

### 夏越大祓式

六月三十日、境内祓所において、夏越大祓式が斎行されました。  
 参列者は一日も早い新型コロナウイルス収束を願い、志波彦神社前の茅の輪をくぐりました。



### 授与品案内

うみまもり  
 鹽土老翁神の御神徳である海上安全・漁業守護の「うみまもり」を奉製いたしました。  
 海に関わる全ての皆様、お仕事やスポーツ、レジャーの際にどうぞ身につけて下さい。  
 初穂料 金一、〇〇〇円也



### 文芸欄

三代の家族の写真昭和の日飯盒に水汲みをれば遠郭公学舎の窓の全開緑さす  
 さくらんぼ挽ぐ先生のはやり唄  
 葉桜や何はなくとも塩むすび  
 片割れの行方いずこや桜貝  
 ぼうたんにたちまち雨の容赦なし  
 ばばんぶんと踏出すバイク柿若葉  
 一の宮一段ごとの飛花落花  
 おみくじの結び目緩き柿若葉

- 佐藤 悦子
- 菅原 和子
- 池田 智恵子
- 横田 みち子
- 大友 セツノ
- 上田 由美子
- 今田 須美子
- 大野 みよ子
- 今野 紀美子
- 及川 源作

### 「国旗のある自由画コンクール」入選作品展

「国旗のある自由画コンクール」入選作品展が四月十六日より五月十二日まで、当社絵馬殿において開催されました。

宮城県からは左記の方々が受賞しました。(敬称略)

- 金賞 佐々木 はる (幼稚園)
- 芹田 壮助 (小学校)
- 銀賞 佐藤 粹子 (小学校)

### 銅板奉納者芳名

三月より五月にかけて、多くの方々より銅板の奉納をいただきました。

- 三月 山梨県 片桐 美雪 (ほか九十四名)
- 四月 山口県 嘉屋 照子 (ほか一〇八名)
- 五月 栃木県 滝田 文子 (ほか六十四名) (敬称略)

### 参籠室・貴賓館 屋根銅板葺替工事 完工

新型コロナウイルスの影響により一時中断していた天皇陛下御即位奉祝事業の参籠室・貴賓館屋根銅板葺替工事が完工しました。これで令和元年より始まりました事業の全てが終了しました。



### 赤巻忍

みなと祭は、残念ながら本年も中止となりました。来年は盛大に斎行できますように。

(慶)